



往還通信

第111号
R3. 4. 9発行

ホームページ <https://miekenjukai.com>
E-mail oukan@ccnetmie.ne.jp



社会福祉法人 三重健寿会
特別養護老人ホーム 往還

〒510-8103 三重県三重郡朝日町大字柿字熊之田564番地
Tel (059)377-6011 Fax (059)377-6001

新年度のご挨拶

理事長 柿澤善樹

当施設も開所して15年目になります。開所以来往還に住み続けているご高齢者もいます。様々な問題事案がありましたが、一つ一つ向き合い解決して進んできました。今後も問題に当たるでしょうが着実に進んでいきたいと思っています。今回の挨拶はコロナと無関係にリラックスして朝日町の話を展開します。この往還の存在場所の地名は「熊の田」です。朝日町大字柿字熊之田です。私が小学生の時、今は高速道路の下になった、この近くの田んぼで両親に連れられ稲刈りをしていたら「ひばりの巣」がありました。以来その田んぼを「ひばりの田」と我が家では名付けていました。同じように考えると、「熊之田」は熊が現れた田んぼということになります。往還には熊沢という看護師さんがいますが、熊沢さん、熊さんの田んぼという可能性もあります。遠い昔、地名が確定していなかった頃のことでしょう。柿には他に「大字柿字狐谷」という地名があります。狐が生息した地域だったのでしょうか。「柿」という名は柿の樹が沢山あったからかもしれません。全く謂れは不明です。口頭で住所を朝日町柿というと「柿？カキだけですか」とよく言われます。

朝日という町名は昭和49年発行「朝日町史」によると明治21年、縄生村、小向村、柿村、埋縄村が合併する時に「天武天皇が迹(と)保(ほ)川(朝明川?)を超えて縄生、小向のあたりで朝日を拝んだ故事がある」ことから名付けたという。天武天皇がこのあたりに来たとすれば天皇になる前、大海人皇子であった頃、壬申の乱の時であろう。大海人皇子軍は南から関ヶ原方面へ向かったことから迹(と)保(ほ)川は朝明川であろう。三重県三重郡の三重は古事記における倭健命が没する少し前の逸話から。菰野町の御在所は八咫鏡を携えた倭比売命が今の伊勢神宮をどこにするかとの探す旅と関係します。又、小向の神社を御厨社といいますがこの倭比売命の旅と関係します。

朝日町といえば、「小学校の円形校舎」と東芝工場が先ず思い浮かびます。朝日小学校には戦後早く、三重県で最初に水泳プールが作られました。お披露目の式にはベルリンオリンピックで金メダルを取った、あの「前畑ガンバレ」の前畑秀子が泳ぎに来ました。東芝のおかげでした。

朝日小学校の校歌に「守部有節生まれし地」と出てきます。守部とは江戸時代後期の国学者橘守部です。本居宣長と同時代の方ですが古事の解釈で本居宣長と意見を異にしていた事もあるようです。四日市の元町に橘守部の血を引く歯科医がいます。有節とは森有節で万古焼の開祖です(正確には再興)。生まれたのは桑名の田町ですが江戸時代後期に朝日町小向名荷山の土が適していると、そこに窯を構え万古焼を始めた。薪が必要で小向や柿の農家にて焼き物と交換した。有節の当時の作品をいまでも所有している農家も多いようです。

町の北部に天神山という丘があります。これは古墳だと認定されています。円墳ですが、詳細は全く分かっていません。

「桑名の焼き蛤」は「朝日の焼き蛤」だと朝日の人は時として主張します。文献には「町屋川の橋をわたりておぶけといふ所をみれば、家々の女、松のかさを焼きて蛤を窺て」とあります。また東富田でも行われていたようです。しかし、残念ながら十返舎一九、東海道中膝栗毛では富田の焼き蛤しか登場しません。最後に。町の体育館の西に祠があります。以前は「がけ山」と言われた広場、現在歴史博物館、図書館がある所に祀られていました。そこでは、昭和時代中頃、野外天幕を張り映画を観たり、盆踊りをしたりしていました。建設時に現在の場所に移動しました。祠には地蔵さんが祀られ、柿地区の住民が毎日順番で「ごはんさん」を供えています。怠ると祟りがあると言われ、いつの時代からか不明です。由来は誰も知りません。最後に恐ろしい話でした。

コロナでの制約に負けない楽しみはいくらでもあるものです。



管理栄養士 みどり通信

今年の節分はなんと！ 1897年以来124年ぶりの2月2日でした

実は節分の日は2月3日が固定ではない訳があります。ではそもそもなぜ節分の日が動くのか？

節分とは季節を分けるという意味です。ここでいう季節とは季節の始まりである立春・立夏・立秋・立冬のそれぞれの前日を指すもので立春だけが残り現在の節分となったとされています。

つまり節分は立春の前日として決まるので今年の立春は2月3日なため、前日つまり2月2日が節分の日となりました。また、次に節分が2月2日となるのは4年後の2025年だそうです。

さて、往還でも節分行事が執り行われました。赤鬼青鬼の衣装を着た職員に向かって新聞玉で作った豆？で豆まきをして邪気払い、恵方巻きを使った「節分ご膳」を食べていただきました。恵方巻きは皆で無病息災・新型コロナ退散を静かに心の中で願い南南東に向かって黙っていただきました。



コロナ感染拡大予防の為、感染に配慮した行事を予定、開催しています。

4月	1日(木)	入社式
4月	2～9日	入社職員オリエンテーション
4月	7日(水)	カット



ショートステイの紹介



ショートステイとは、短期的に施設に入所し介護・支援が受けられるサービスです。在宅で介護を続けていると、冠婚葬祭などで自宅を数日間空けなければならない、出張が入る予定がある、介護者が体調を崩したなど、一時的に在宅介護が難しくなる場合があると思います。そんな時に強い味方になってくれるのがショートステイです。また、介護者のレスパイト（休息、息抜き）も目的の1つです。

利用するための条件

要支援1・2（介護予防）、要介護1～5の方が利用できます。

申し込み方法

ショートステイを利用したい場合は、まずはケアマネジャーに相談しましょう。ショートステイは3ヶ月前から申込受付を開始して予約が取れます。1～2ヶ月前には予約を取らないとお部屋が空いていない事がありますのでお早めにご予約ください。年末年始やゴールデンウィークなど特に予約が取りにくい時期は、3ヶ月前の予約開始時にすぐ予約を取る事をおススメします。

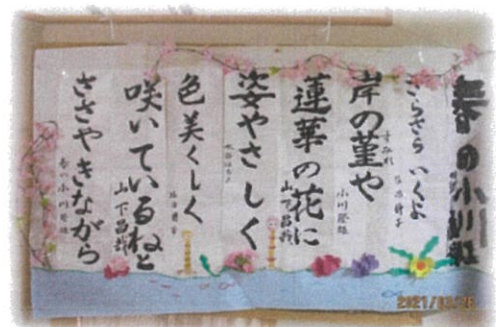
ショートステイを活用したい場面

介護をする人	介護される人
	
<ul style="list-style-type: none"> ● 家族の介護疲れ ● 冠婚葬祭 ● 泊まりのシフト勤務 ● 出張や旅行で外出 	<ul style="list-style-type: none"> ● 退院直後の一時的な利用 ● 入所施設が決まっていない ● 特養の入居待ち ● 介護施設に慣れたい



デイサービス

デイサービスでは月に1回、美子先生の書道があります。全身を動かす体操から始まり、筆ならしをしてから季節に合わせた歌のフレーズをひとり一人が担当して書きます。練習をしてから清書される方や、ぶっつけ本番で書かれる方など様々で、みなさん一生懸命に取り組まれています。終わった頃には「疲れた～」との言葉が飛び交いますが、どなたも達成感から笑顔がみられます。次の季節は何の歌かな？デイ全員の渾身の書道をどうぞご覧ください！





短歌



皆さん、こんにちは。
朝日町縄生の小柳 昭夫です。
今年の1月より往還の宿直職員として
お仕事をさせて頂いております。



それと並行して、少し短歌を勉強しております、スマホで投稿にも取り組んでいます。
我流ですが、4首ほど載せさせていただきます。

「楽しみは⑤ ⑦ ⑤ ⑦ ○○の時⑦」

自分の身の回りの出来事（日常）を振り返り、今日一日の良かった事探しの短歌です。

是非皆さんも取り組んでみてください♪

楽しみは
日の出と共に
水をあげ
花に命を
与えしの時

楽しみは
孫とタコ上げ
伊坂ダム
糸の感触
教えるの時

楽しみは
少し昼寝と
夕時に
ぬる目のお酒
たしなむの時

楽しみは
二人で歩く
散歩道
春の兆しを
感じるの時

83才没
亡き父を偲んで一首

コロナ禍の毎日で運動の
大切さを身に染みて始めました

腰痛予防

職員の腰痛予防に向けた当施設での試み

施設長補佐 後藤 勲

ご利用者を支援させて頂くなかで、腰を痛めてしまう職員もいます。当施設では、職員自身の体を守りながら、利用者の自立支援を目指しています。今回は、取り組んでいる（取り組んでみた）内容をお伝えさせていただきます。

試み例

- ①毎日14:50からラジオ体操の放送を掛けて、職員と利用者で体操の 実施
- ②月1回 整体の先生による職員に向けて介護する姿勢に意識を向ける場を提供
- ③移乗サポートロボット「HUG（ハグ）」お試しによる施設導入機器の検討（3月）
- ④トランスファーボードの操作説明の場の提供と対象ご利用者への使用の勧め
- ⑤動作支援アシストスーツ「マッスルスーツ」の説明を受けて導入3台（4月）

